



学校法人志賀学園  
久之浜こども園  
令和2年10月30日

紅葉や銀杏の葉っぱが色づき始め、秋の深まりが感じられるようになってきました。子ども達は小春日和の中、園庭で鬼ごっこや砂遊びをして、先生や友達と関わりながら元気に遊んでいます。保護者の皆様には作品展にお越しいただきありがとうございました。お子様方の作品展をご覧になった感想はいかがでしたでしょうか。ご家庭での会話もひときわにぎわったことと思います。作品の出来栄もさることながら、作品が完成するまでの、この3週間の活動がとても充実しており協同的な学びができていると感心しました。運動会で万国旗を描いたことから、世界に関心を持ち始めた年長児。世界にはどんな国があり、どんな建物や風景なのか、食べ物は何かがあるのか、先生と子ども達で話し合った後、ご家庭でも話し合うように子ども達に呼び掛けたところ、世界のイメージがどんどん広がっていったようです。それから日本の富士山・エジプトのピラミッド・オランダの風車・アメリカのゴールデンゲートブリッジと自由の女神・飛行機等、6グループに分かれ自分が作りたい大型制作に取り組みました。ここでは、何を使いどのように作っていくか設計図を作るところから始まりました。「これを使いたい!」「こんな色にしたい!」と自分の意見を出しながらも、友達と意見があってスムーズに進むグループもあれば意見が合わず折り合いをつけながら進めていくグループ等いろいろでしたが、子どものペースに合わせて子どもの思いをなるべく実現化できるよう進めたところ、「ここには〇〇があったほうがいいよね!」「こうしたい!」などアイディアがたくさん出てきてイメージが膨らんでいきました。それから年中児、年少児、3歳未満児も加わり異年齢児の関わりもできました。子どもが、共同制作を行う中で、いろいろな素材に触れ、いろいろなことに気付き、作る楽しさを味わうことが出来るよう、作品が出来ていく過程を大事に考え見守りました。おかげで子どもらしい発想の素敵な作品が出来ました。保護者の皆様には、廃材のご協力をいただきありがとうございました。

さて今月は、11月15日の「七五三」についてお伝えします。

3歳、5歳、7歳と成長の節目に、近くの氏神様に参拝して無事成長したことを感謝し、これからの将来の幸福と長寿をお祈りするのが七五三の行事です。3歳の男女共に「髪置き：髪を伸ばし始める」5歳男子「袴義：はじめて袴をつける」7歳女兒「帯解き：帯をつかいはじめる」のお祝いで、明治になって現代の七五三として定着しました。千歳飴は、江戸時代からあり、親が子どもの長寿を願うもので細く長く縁起の良い紅白で作られています。

寒くなると新型コロナウイルスやインフルエンザの感染が心配されます。手洗いやうがいをしていねいに行い規則正しい生活を心がけましょう。しっかり食べて十分に睡眠をとり体力をつけ免疫アップすることで病気に感染しにくい体づくりをしましょう。